

# 白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1872回例会 | 令和7年10月9日  
18:30～19:30



創立40周年

## ○ソング

- 四つのテスト

## ○ビジター

- 菊池藍子様
- 菊池奈穂様

## ○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は菊池藍子様、菜穂様、はじめてのRC例会参加ありがとうございます。ビジョン推進研修委員会の中目委員長、卓話ありがとうございました。）
- 運天直人幹事（ビジョン推進、中目委員長卓話ありがとうございます。また本日は交換留学生の菊池藍子様、お母様ようこそ白河西クラブへ、例会を楽しんでいって下さい。）
- 堀田一彦会員（地区大会記念コンペで準優勝する事ができました。参加された皆様ありがとうございます。）
- 吉野敬之会員（先日の米沢中央様との懇親コンペでは思いもかけず優勝させて頂きました。同伴していただいた会長の御指導のお蔭かと存じます。今後とも御指導の程宜しく願います。）
- 鶴丸彰紀会員（先日結婚記念日のお祝いを頂きました。関谷農園の美味しいお野菜セットとお米でした。野菜はさっそく食卓にいろどりを沿えて、家族そろっておいしい時間になりました。ありがとうございます。）
- 中目公英会員（ビジョン推進、研修委員会の担当例会で、つたない卓話をさせていただきました。ご拝聴いただき、ありがとうございます。）
- 金田昇会員（交換留学生菊池さんようこそしっかり準備して学んできて下さい。先週の地区ゴルフコンペ楽しくプレーができました。参加された会員みなさま、ありがとうございます。）
- 山縣栄寿会員（本日もスマイルありがとうございます。）

## 【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月20日 大子、白河西野球練習試合  
居川孝男、堀田一彦、吉田充、吉野敬之、中嶋一貴、吉成茂、渡辺道直、菊池隆博、桜岡敏之、成井正之、市川正人、運天直人
- 10月7日 米沢中央、白河西交流ゴルフコンペ  
藤田龍文、吉野敬之、堀田一彦、前原俊治、宮本多加夫、鈴木孝幸、十文字光伸、沼田重一、中嶋一貴、吉成真五郎、齋藤孝弘、長克則、運天直人
- 10月8日 県南分区会長幹事会・ガバナー歓迎会  
金田昇、藤田龍文、運天直人、諸橋和典

## 10月9日 ～本日のメニュー～



- ・海鮮チヂミ
- ・中華風豚の角煮と煮玉子
- ・鶏もも肉と野菜の葱塩焼き
- ・季節のフルーツ二種
- ・白飯
- ・味噌汁
- ・香の物

## ▶第1872回例会出席状況 (R7年10月9日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	55名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓘ 全正会員数	73名
Ⓒ ①の出席者数	24名
Ⓓ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	11名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓕ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	66
① = ⑥ / ⑦ × 100 (例会出席率)	57.5%

## 本日のプログラム

### ■会長の時間

藤田龍文会長

皆様、こんばんは。本日の例会は、ビジョン推進研修委員会の卓話ということで、地区でもご活躍されてます中目委員長のほうから卓話をいただくという例会となっております。なかなか単年度制のロータリークラブとしては中長期に渡るロータリークラブの計画と策定というのはなかなかないクラブですので、ここ数年内ビジョン推進ということで中長期のビジョンもやりましょうという部分で、いろいろ詳しい話を中目委員長からしていただけたと思いますので、是非今日は皆さん勉強していただければと思います。そして、本日のお客様をご紹介します。先々週の、理事会で当クラブが交換留学生のスポンサークラブとなり送り出すということ承認をいただきまして。本日同会場で交換留学生の候補生の菊地藍子さんと、そしてお母様の菊地奈穂さん、面談をさせていただきまして決定をいたしました。せっかくですので、なかなか留学生とかそういった部分の生徒さんはロータリーの例会を見たことがないということですので、そのままお時間をいただいてロータリークラブの例会自体を初めて見ていただくという形になります。後程、藍子さんと奈穂さんのほうにはご挨拶いただきたいと思いますので、是非よろしく願いしたいと思います。先週の例会から、秋はロータリー行事も沢山多くありまして、先日地区のポリオの親善ゴルフ大会というのを、県内のロータリアンが集まってのゴルフ大会ということでいわき市の「五浦カントリークラブ」という名門ゴルフ場でやらさせていただきました、なんと113名も参加者がいた中で当クラブの堀田会員が2位で大変良いスコアで回りましたので、後程委員会の報告でもあると思いますが、そしてドラコン、ニアピン、アトラクション、10何箇所あったんですが、県内60クラブある参加のクラブのうち当クラブは6カ所か7カ所くらい当クラブが独占しましたので、当クラブのゴルフの水準はとても高いということを改めて認識させていただきました。その後、またゴルフの話なんですけど先日、米沢中央ロータリークラブさんと交流ということで昼間「グランディ那須白河」でゴルフをさせていただきました。当クラブも10何名と米沢さんも同等の人数でいらっしやいまして、秋のグランディでゴルフの交流を楽しんできました。そちらも、優勝は多分同伴者も良かったと思いますが当クラブの吉野パスト会長がバスクローでぶっちぎりで優勝されました。チーム戦ということもありまして、米沢対白河西もぶっちぎりで白河西がチーム戦も優勝させていただきました、大変楽しい交流をさせていただきました。そして先日、ガバナー公式訪問があつて県南分区全体でガバナーご夫妻の歓迎会ということで、県南分区の会長幹事、そして金田ガバナーエレクトや諸橋次年度幹事が集まりまして、須賀川の「ホテル虎屋」でガバナー歓迎会をおこなってまいりました。こちら、ガバナーの歓迎とそれから今後に向けての地区のいろいろ

な方針や事業に関してのいろいろな話をさせていただきました。そういったところで地区の行事やいろいろな行事、秋は目白押しでございますので、そういった部分参加できる会員の方も是非参加していただいて、10月は地区大会もございます。来年の金田ガバナー年度に向けてまだまだ出席の枠がございますので、全員登録で皆さんちょっとご安心してる部分もあるかもしれませんが是非、ご予約空けていただいて来年のガバナー年度に向けた弾みを県内のロータリークラブの方々に姿というか態度で示してあげたいと思いますので、是非ご協力の程をよろしくお願いいたします。

### ■幹事報告

運天直人幹事

- ガバナー 泉田征慶 青少年奉仕委員長 増子博保：地区大会7回「青少年会議」及び「青少年奉仕活動発表」開催のお知らせ
- ガバナー 泉田征慶 会員増強・DEI委員長 西山由美子：新会員ゼミナール開催のご案内
- 泉田ガバナー事務所：文庫通信394号
- 国際ロータリー：ロータリーの公共イメージ向上に力を注ぐ
- 福島民友社：国際ロータリー第2530地区大会特集新聞広告ご協賛のお願い
- ガバナー 泉田征慶：2028-29年度ガバナー選出の件
- ガバナー 泉田征慶 社会・国際奉仕委員長 白岩薫：セブ北部地震災害における支援のお願い
- ガバナー 泉田征慶 第1地域ARPIC 石黒修司：世界ポリオデーフォトコンテストご応募とクラブ会員へのPRのお願い
- 浪江ロータリークラブ事務局 伊藤まり：地区大会晩餐会での服装について
- 白河市赤十字奉仕団 委員長安澤莊一：白河市赤十字奉仕団第3回委員会について

### ■来賓・来訪者の紹介

#### ●青少年交換留学生参加予定者

菊地藍子様

石川義塾中学校3年の菊地藍子です。今回、青少年交換留学プログラムの候補生として認めていただきましてありがとうございます。

#### ●保護者

菊地奈穂様

今回、候補生に選んでいただきました菊地藍子の母、菊地奈穂と申します。このような席にお招きいただき誠にありがとうございます。候補生としてかなり短い挨拶ではございましたが、これからいろいろな経験を積ませていただき、またこちらの日本、そして福島、白河の発展に貢献させ





ていただければなと思っておりますので、是非皆様のご協力と温かいご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

### ●各委員会報告ゴルフ愛好会

堀田一彦会長

皆さん、こんばんは。ゴルフ愛好会から先程会長のほうからお話ありましたが、ロータリー地区大会の記念コンペのほうの商品がある方だけ表彰させていただきたいというふうに思っています。名前を呼ばれた方は前のほうにお願いいたします。金田ガバナーエレクト、ニアピン賞です。おめでとうございます。吉成真五郎会員、ニアピン賞です。運天幹事、ドラコンです。藤田会長、ニアピン賞おめでとうございます。諸橋会員は来てないですね、95位、トビ賞です。それと、渡辺道直会員がピッタリ100位とニアピン賞貰っております。そして、わたくし堀田が準優勝でした。ありがとうございます。参加されたメンバーの方、ありがとうございました。また、10月23日「烏山城ゴルフクラブ」でJC・YEG交流コンペもあります。来週の火曜日が締め切りとなっていますので、まだ間に合いますので是非多くの方に参加していただければというふうに思います。



### ■本日のプログラム ビジョン推進研修委員会担当例会

#### ●ビジョン推進研修委員会

中目公英委員長



皆さん、こんばんは。今日はビジョン推進研修委員会の担当例会というふうな事で、誰かを卓話と呼んでくれば簡単なところを誰も卓話のあてもなく、委員長という役目上卓話をさせていただきます。担当例会卓話で昨年もビジョン推進研修委員会の卓話をさせていただきました。金田昇さんが我がクラブから初めて2530地区のガバナーになるというふうなことで、その為の準備をしましょうというふうなことで、今の泉田年度ではなくその前の早川年度ではなくその前の右近年度の体制を学びましょうというふうなことで、福島ロータリークラブの地区の運営についての話をさせていただきました。その金田ガバナーエレクトの強い指導力をいただきまして、もう既に金田ガバナーがガバナーになるガバナー年度の為の我がクラブの地区の運営委員会というふうなものが起ち上げっておるところでありますし、あとは西クラブの会員一人一人のご協力、賛成をいただきまして去年から3か年間特別会費として1万円会費の値上げ、徴収するというふうなことを認めていただいております。その使い道は先程藤田会長からあったとおり、地区開会へガバナー輩出クラブは3か年間に渡って全員登録するというのが慣例なものですから、70名を超えますとそれだけで70万かかってしまいますので、そのた

めの費用として特別会費の1万円を認めてもらったというふうなことであります。一応、そこまで進んでおりまして先々週でしたか、矢田部さんのほうから地区の三大セミナーについての話をいただきまして、今10月ですけども11月下旬までには完全金田ガバナー年度の我がクラブの地区チームがもうすぐ出来上がりますので、これから1か月半の間、金田さんから電話がかかってきたならば、皆「はい、喜んで。」と言って地区チームになっていただきますように、金田ガバナーエレクトに代

## 変わるロータリー

## 変えない使命

2025年規定審議会から学ぶ  
“未来のつくり方”

わりまして私のほうか一言前もって今からお願いをしておきます。さて、それで前段で今日ビジョン推進研修委員会として皆さん方にお話ししたいと思ったのは、このタイトルはロータリーは変わっていくで、変わって行くロータリーなんですけれども、変えられない使命があるんだというふうな、そういうふうなえらいばかでっかいタイトルをしました。これは僕が決めたのではなくて、いろいろとネットサーフをして勉強したところ、これが一番我がクラブにとっては皆さん方の勉強になるところかなというふうなところでこのタイトルを決めさせていただきました。ロータリーは毎年のように変わっていきます。しかし、変えられない大きな使命があるというふうなことです。このタイトルの原点は、今年の4月に行われました規定審議会というものが行われましたから、この規定審議会の内容を皆さん方にちょっと紹介をさせていただきまして、その変わっていくロータリーがこれから作っていく未来の在り方というものを皆さん方に学んで

### 変わるロータリー 変えない使命

・ 2025年4月13～17日、アメリカ イリノイ州 シカゴ

世界中のロータリアンが注目する  
「ロータリー規定審議会 (Council on Legislation)」が開催され、  
数多くの重要な決定が下されました。

・ この審議会は、ロータリーの立法機関であり、組織の未来を形作る提案について議論・採決する、3年に1度の大会イベントです。

・ そこに集うのは、各地区から選出された代表議員。まさに、ロータリーの「民主主義」が実践される場です。

いただければと思った次第であります。今年の4月13～17日までの間、アメリカのイリノイ州にあるシカゴにおきまして、3年に一度のロータリー規定審議会というものが開催されました。3年に一度のロータリーの規定審議会です。このロータリーの規定審議会というのはロータリーの唯一の立法機関でありまして、ロータリーの組織の未来を形作るための議論をする3年に一度の大きなイベントであります。この大会には地区から1名代表委員が出まして、その方々の多数決でもってこれからの未来の姿を決めてくわけなので、2530地区からこの規定審議会のほうに参加したのは、白河ロータリーの鈴木邦典さ

んが行って来たと。パストガバナーが出たというわけでありま  
す。ですから、残念ながら西クラブから近い将来このロータ  
リーの規定審議会に参加できる権利を持つてるのは金田昇  
ガバナーエレクトしかいないというふうなことでありますから、金  
田ガバナーエレクトは西クラブのレベルを超え、更には2530  
地区の地区のレベルを超え、まさに国際ロータリーのレベルま  
で登っていく方でございますから、皆さん全員でそういう金田

審議会の開催

・規定審議会ー3年ごとに開催

2025年規定審議会2025年4月シカゴでin-person（4月13日～17日）

・決議審議会ーオンラインで毎年開催

2025年決議審議会2025年10月15日から11月15日まで（11月中に結果発表）

さんを支えなければいけないというふうなところであります。ロー  
タリーの運営というのは本当に民主的におこなわれておりまし  
て、ロータリーの在り方を決めるものの会議の種類が先程か  
ら喋っている3年に一回開催される規定審議会というものと、  
毎年オンラインで開催されます、もう間もなく開催されるん  
ですが決議審議会という二つの審議会があります。ロータリー歴  
が残念ながら浅い方々は規定審議会とか決議審議会なん  
か言葉すら聞いたことがないかもしれませんので、今日のこ  
の機会に名前だけでもまずは覚えておいていただければい

規定審議会ー3年ごとに開催

・ロータリーにおける唯一の立法機関

立法案とは

・制定案  
RI定款、RI細則、標準ロータリークラブ定款の改正を目的とする案件

・見解表明案  
RIの見解を表明しようとするものであり、RI理事会のみが提出できる

いんじゃないかなと思います。まず初めに、規定審議会という  
のは先程来言ってるように3年に一回ごと開催されます。この  
規定審議会で決定されるものは制定案。つまり、国際ロータ  
リーの定款、並びに国際ロータリーの細則。そして、国際ロー  
タリーのほうが各クラブに対して決めるロータリークラブの標  
準ロータリークラブ定款。この定款の条文の改正というものが  
できるのは、この3年に一回の規定審議会だけということに  
なっていて、我がクラブのロータリークラブ定款はこの規  
定審議会で決まれたロータリークラブ定款をそのまま使わ  
ないといけないというわけでありまして、その他、それに付随し  
て見解表明なんていうのありまして、国際ロータリーの見解を  
表明するような統一した見解というものを、全体を取り仕切る  
国際ロータリーの理事会が提出するものを、この見解表明な  
んていうものが策定されるのが規定審議会であります。先走り  
ますと、今年の年次計画書がありますがこの一番後ろに載っ  
ている我がクラブの標準定款、西ロータリークラブのロータ  
リー定款というのは残念ながらこれは古いものです。ですから、

この4月の規定審議会が終わった後、新しい本当に細かい  
所は変わっていますので、次の年度の青木年度にはこの定  
款のほうを最新のものにリニューアルをして印刷をしていただ  
きたいなと思っていますとこであります。今日は青木大君がい  
ないので、幹事予定者の真五郎さんはその事を覚えておいてく  
ださい。よろしくお願いします。決議審議会というのは10月にオ  
ンラインでありまして、これも大概パストガバナーの方々がオン  
ラインで参加するようになりますが、これはちょっとクラブのレベ  
ルを超えるような細かいことなのでこちらのほうは省略をさせ  
ていただきますが、先程言った国際ロータリークラブの定款  
や細則の立法に関係しないところ。組織の規定文書に記載  
されている事柄の範囲外のこと。だけど、国際ロータリーの理  
事会ないし国際ロータリーのロータリーの財団管理委員会  
が決定するようなもの。こういうものを決定するのがオンライン  
で毎年やる決議審議会というものです。多分、大切なものは  
地区のほうに降りてきて地区の委員会内で共有されるもんで  
すけれども、それぞれの各クラブまでこの決議案の細かいこ  
とが下がってくるということはあんまり見られないところであ  
りますけれども、我がクラブで関係するのは金田さんが将来決議  
審議会のほうにも出席されますので、そちらのほうも金田さん  
にお任せをして頑張ってもらいたいと思ってるところでありま

1. 会費増額

・今回、最も議論を呼んだのが、「人頭分担金（per capita dues）の増額」に関する立法案でした。

・2025-26年度：82ドル→85.50ドル 毎年3.75ドルずつ増額予定（最大で2028-29年度に93ドル）

この増額を白河西ロータリークラブで、見てみると

2022-23	71ドル	送金は半期毎	35.5ドル	1ドル150円会員70名	372,750円
2023-24	75ドル		37.5ドル		393,750円
2024-25	78.5ドル		39.25ドル		412,125円
2025-26	82ドル		41ドル		430,500円
(ここまでは、2022年度に開かれた、規定審議会の決定事項)					
2026-27	85.5ドル		42.75ドル		448,875円
2027-28	89.25ドル		44.63ドル		468,615円
2028-29	93ドル		46.5ドル		488,250円

す。これから話をするのは先程言った今年の4月13～17日ま  
で行われた規定審議会におきまして決まった事。これを皆さ  
ん方にご報告しようと思います。一番はこれです。会費の増  
額です。今年、今回の審議会の中で一番参加者、大体地区  
が全世界で480プラスパストガバナーの方々の何人かの  
方々が参加するので、総勢大体500名が参加するのが規定  
審議会ですけれども、そこで民主的な形で決定するんですけ  
ども、そこで一番議論を呼んだのが人頭分担金の増額に対す  
る立法案でした。今年決まった事は、一人当たりの人頭分担  
金が年間ですけれども82ドルから、毎年これから3か年間3.75  
ドルずつ増額をする。最大で2028年から29年までに、一人当  
たり93ドル。こちらの人頭金の分担が可決されたというふうな  
ことであります。3年前の2022年度の規定審議会におきまし  
ても、同じように残念ながら増額が認められまして、だから今から  
いうと4年くらい前に私が一回増額されるようになったんです  
と喋った記憶はちょっとあるのですけれども、残念ながら西ク  
ラブの方々にはこれが共通理解になっていないので、この年  
次計画書の次年度の阿部年度の時には人頭分担金が80  
万8,158円のところ、決算額が91万5,724円で、予算額より10



万円位のオーバーになって決算をしてるにはこの人頭金が上がってるということを考慮に入れてなかったのが、阿部年度はこういうふうな形の決算額になってしまいました。今年の藤田年度の予算書を見てみると一人当たり35.50ドルで、半期ですよ。半期あたり見ているのですけれども今年度はここにありとおり41ドルなので、今年人頭分担金の予算額を77万2,125円に取っていますけれども、これはおそらく15万位値上がりした決算額になってしまいます。7月の末の送金書で地区に収めるほうの請求書のほうは間違っていないから、もう既に半期分この予算額を超えて支払いをしていますから地区から怒られることはありませんが、決算額は多分居川先生が頭を三角形にして、なんだ予算額より多いなっつって大体15万位はオーバーするというふうなことがもうわかっているというふうなことであります。今まで、だから2022年か23年あたりまでは年間71ドルで半期ごとに収めることになってますから、半期ごと35.5ドルずつ収めなくちゃいけないところ、今年は半期ごとで41ドル収めないといけないことになっておりまして、真五郎さんのほうには次の年度の2026～27年には半期ごとに42.75ドルこれを納めないといけないので、藤田年度の予算書は当てにならないので、人頭分担金の予算を決める場合にはこれを頭に置いておいて今、携帯で写メを取ってこれを頭に入れておいて予算を組んでもらうようにお願いいたします。そこにあるとおり、2028年から29年まで93ドルまで上がるということになっているんです。まあ、ロータリーっちゃ金持ちの集まりなのでこれを賛成したんですね。もうこの次ちょっと詳しく話をしますがちなみにライオンズさんの人頭分担金は調べましたところ、今年度一人当たり50ドル、年間50ドルになってますから、大体我がロータリーはライオンズさんの倍の人頭分担金を世界の組織のほうに上納してるというふうな形になってるというふうなことであります。もう決まっちゃったことなので、やめたいと思えば国際ロータリーから脱会するしかないで、脱会するかどうかは理事会で決めることですから、もし脱会したいという場合は藤田年度の理事会で決めてもらえばいいですけど。脱会したくないという場合はこの値上げを飲まざるを得ないというふうなことです。これが最も議論を呼んだことなので、その議論の内容を話をさせていただきますと、財政、この痛みのある改革ですけども、まあそれでも値上げは賛成しますという賛成

ドルだっけ、ちょっと忘れちゃった。大体そのくらいの赤字額なので、その赤字額が膨らんでくるといふなことになるので、財政の話のように聞こえるかもしれませんが、ロータリーがロータリーとして存在するその存在の意義をきちんと維持するためには、赤字を垂れ流すわけにはいかないのでそれを事前に止めましょうというふうなことまで考えて賛成派の人たちはその値上げを提案したというわけであります。その中でその規定審議会の中で、その支配的なパストガバナーたちの気持ちを一番変えたひと言がそこにあります国際ロータリーの理事のスプラマニアンさんが言った言葉が各パストガバナーたちの心を捉えて賛成派の方々が多くなったというその言葉が、世界は今ロータリーをこれまで以上に必要としていると。ロータリーの未来を守ることは皆さん方の手にかかっていますというふうなことを言って、ロータリーが世界から求められているのである以上、ロータリーというものは維持していかないといけない。ただ、維持していくためには赤字を垂れ流すわけにはいかないので、スリム化できる場所はスリム化しながらコストを削減しながらも、ロータリーが存続していくために人頭分担金を値上げしないといけないというふうなことを言っているというわけです。3.75ドルの値上げというものは年間の世界全体の物価上昇率よりも下回っているから妥当な値上げの幅なんだというふうな事を賛成派の人たちは言った

痛みのある改革 それでも進むべき理由 反対派

- ・反対意見としては、小規模クラブにとっては負担が大きいという声や、会員数の減少につながる懸念が挙げられました。
- ・日本の第2650地区からは刀根荘兵衛議員が登壇し、人口減少と高齢化の中での会費増額がクラブの継続性に与える影響を指摘。
- ・過去10年間、会員数は減少傾向にあると述べ、人頭分担金の増額による会員減少は小規模クラブに最も打撃を与える

そうです。それがいいかどうかはわかりませんが、その中で反対派の人も当然いたわけで沢山の方が反対したわけですけど、その中で反対意見を強く言ったのなんとなんと日本の2650地区。これは京都大阪の所ですけど、この京都大阪のパストガバナーの刀根荘兵衛さんという議員さんが500人くらいいるパストガバナーたちの前で登壇をして、世界の人口減少と高齢化の中で各クラブの人頭分担金の増額というものは、クラブの存続性そのものに大変な影響を与えるから辞めたいほうがいいと。特に今日、会員増強が上手いかず小規模のクラブが多いクラブにとっては人頭分担金が毎年のように3ドル以上の、今日の段階では1ドル152円位ですから、そのくら

1. 会費増額

- ・RIの支援やサービスの質を維持しながら、物価高騰に対応するには、持続可能な会費体系が不可欠です。
- ・多くの議員がその重みを背負って賛成票を投じたのです。
- ・「未来のロータリーを守るための、今の決断」

（採決） 351 : 135 採択

痛みのある改革 それでも進むべき理由 賛成派

- ・財政の話のようですが、これは「ロータリーの存在意義をどう維持していくか」という本質的な問いに直結しています。
- ・RI理事のスプラマニアン氏の言葉が印象的でした。「世界は今、ロータリーをこれまで以上に必要としています。ロータリーの未来を守ることは、皆さまの手にかかっています」
- ・RIが組織の効率化を図る新たな方法を見出し、これまでと同様に、今後もコスト削減を継続していくと主張しました。
- ・年間約4%の増額率は、2024年の世界的な物価上昇率を下回っています。

派の方々の言い分です。財政問題。値上げをしないと国際ロータリーのほうは年間4,000ドル位の赤字になってるそうなので、このまんまだと4,000円×毎年というふうな形に、4,000万

いの負担金を増やしていくというのは更なる会員の減少に繋がることなので、皆さん方が考えてる以上にこれは深刻な問題だから、国際ロータリーの上部団体そのものを小規模にしたほうがいいんじゃないかみたいなことを強く訴えたんだそうでありますけれども、だそうですけども採決の結果はですね、そこに一番最後にありますよう351対135の結果、増額が認められたというふうなことでございまして、ロータリーの支援や世界に対するサービスの質を維持しながら物価高騰に対処するため、持続可能な国際ロータリーの会費体系を維持するためには値上げはしょうがないんだと言う人は大体このくらいの割合でいたというふうなことでございまして、クラブの1メンバーがこれに対して反対したいと言った場合には、会を辞めるくらいしかないかもしれませんが、皆さんお金持ちのロータリアンですから、この国際ロータリーの決断に対して賛成だというふうなことで、人頭分担金を更に沢山世界に対して払っていくようなことになるんだろうと思います。それで我がクラブの18万円の年会費が維持できるかどうか、年会費を高くしたほうがいいんじゃないかとかっていうふうなことは、これは藤田会長の判断になっておりますので、藤田会長のほうに皆さん方が強く言っていただいて会費の維持をしようか、それとも少し値上げしようかみたいな話のほうはこれからク

## 2. 新クラブ設立のハードルを緩和

### ー会員拡大の可能性

- ・ もう一つ注目されたのが、「**新クラブの加盟に必要な会員数を20人から15人に引き下げる**」という立法案の承認です。
- ・ これにより、地域や世代に合わせた**柔軟なクラブ運営**がしやすくなり、多様なニーズに応じたクラブ設立が可能となります。
- ・ 特に、若年層や女性、リタイア世代など、新たな層の参画を呼び込む「**革新的クラブモデル**」や「**衛星クラブ**」推進の後押しになることが期待されています。

ブで相談していただければと思ってるところであります。次、もう一つの大きい規定審議会の中で決まった事は、新クラブを設立するハードルを緩和したというふうなことが大きな議題になりました。こちらのほうは我がクラブは西ロータリークラブが西ロータリークラブとして成立して認証を受けた時の人数は27名で創立されまして、そこにありますように新クラブの加盟に必要な最低の人数は20名以上であったのですが、現在は各クラブの人数等々が少なくなっているもんですから、新クラブの加盟の新しいクラブを増設するという場合には最低15名までで大丈夫だというふうに今回の規定審議会で決まりました。ですから、金田昇ガバナーエレクトが俺がガバナーになったんだから白河地区でクラブを新設したのは白河クラブしかないから、じゃあ西クラブは新しいクラブでも作ってみようかなんていうふうなことを金田ガバナーエレクトが思ってその当時のその時の会長さんがそれに賛成をして新クラブを設立しようという場合には15名を集めてもらわないと、事前にですね。拡大委員長が誰になるかはわかりませんが、まあ多分これまでの我がクラブに新入会員を一番入れた藤田現会長あたりが拡大委員長になるのではないかと思いますけれど

も、そういうふうな時には15名でやってもらいたい。こういうふうな5名の人数減を決めた理由は次にありますように、地域や世代に合わせた柔軟なクラブの運営をしやすくするためであるというふうなことで、現在ロータリークラブはロータリークラブ本体ばかりじゃなく、一番最後に書いてあるような若年層に特化したであるとか、リタイア世代に特化したであるとか、ある事業だけに特化したであるとかというふうな革新的なクラブというふうなものも作ることができますし、この地域ではありませんけれども日本のロータリーに広く目を向けると衛星クラブというふうなものがありますから、我がクラブの中でも例えば年間最低でも50パーセントの出席率がないと本当だったらば会員辞めてくださいと言われるところを言わないわけですけども、会長が優しいので多少出席率を下げてでもいいような我がクラブの衛星クラブみたいな形にするというふうなことも考えられて、柔軟なそのクラブの運営というものができるようになっているのも人数制限を下げて頑張るためだというふうに今回の規

## 3. クラブの目的

- ・ 第3条クラブの目的
- ・ 本クラブの目的は、次の通りである。
- ・ (a) 「ロータリーの目的」の達成を目指すこと；
- ・ (b) 五大奉仕部門に基づいて成果あふれる**社会奉仕**プロジェクトを実施すること；
- ・ (c) 会員増強を通じてロータリーの発展に寄与すること
- ・ (d) ロータリー財団を支援すること；
- ・ (e) クラブレベルを超えたリーダーを育成すること

定審議会は決めたというふうなことであります。3番目、これはその標準ロータリークラブの定款が変わったことです。その3条のクラブの目的というふうなものの、本クラブの目的は次のとおりであると。ロータリーの目的を達成することと、Bの五大部門に基づく成果溢れる、今までは成果溢れる奉仕プロジェクトを実施することということだったんですけど、ここに社会という二文字が加わることになりました。これは何を意味するかというと、五大奉仕部門というのはあるわけですけども、幹事さん、五大部門って何ですか。一番初めにクラブ奉仕があって、職業奉仕があって、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕。もう一度言います。皆さん当然わかってると思ってるから幹事さんに指したわけですけど、皆さん知ってると思いますけれどもロータリーにおける五大部門というのは、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕。今までここに社会奉仕というのがなかったのが、この五大部門がみんな等しく同じものとしてなったわけですけども、その中でも今回の規定審議会でここに社会という二文字を入れたということは、この社会奉仕という場合は五大部門の中の社会奉仕というレベルではなくって、それを一つ越えたような部門として社会奉仕。だから、国際奉仕も国際社会に対する社会奉仕なんだ、青少年奉仕も若い者向けの社会に対する奉仕なんだというふうな意味合いで一つ高い意味での社会奉仕というものを、そしてクラブが創立している地域に対するロータリーが還元をするものの一つとして、ここにやっぱ社会奉仕とい



う二文字を入れたほうがいいだろうというふうなことが規定審議会で決まったというふうなことから、次年度のクラブの標準定款の場合にはこの変更の所を書いた奴を新しい定款と

#### 4. 中間財務報告

- ・第7条会合
- ・第2節—年次総会—その他の会合
- ・(a) 役員を選挙するため、現年度の収入と支出を含む中間報告および前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。
- ・(b) 現年度前期における収入と支出を含む中間財務報告を1月31日までに開催される会合において発表するものとする。

2019年に導入されたが、12月31日までに中間財務報告の発表規定に、多くのクラブが難しさを感じていたから。

して記載してもらいたいというふうなことです。それから、この次はもうすぐあります年次総会に関わることなので、2019年度に行われました規定審議会議におきまして、年次総会の時には現年度の収入と支出における中間報告、これをやりなさいというふうに2019年度の規定審議会議で決まりまして、我がクラブは居川会計さんのほうに大変お骨折りをいただいて、この規定どおり標準クラブ定款の条文どおり、年次総会におきましてこの中間報告というのをしていたわけなんですけれども、残念ながら全世界的に見てこの現年度の収入と支出の中間報告というものを年次総会にやるということができないクラブがあまりにも多すぎてこれが有名無実になっていたものですから、今回の規定審議会議のほうでそのところが削除になり、ただその代わりですね現年度全期における収入と支出を含む中間報告を12月31日までじゃなくて年を越した1月31日まで、だから1か月間猶予を与えるというふうな新しいようなロータリークラブの標準定款に代わったというふうなことであります。ただ、我がクラブは居川会計さんのほうのやつで十分やってきましたから、今までどおり年次総会に中間報告をするということができるとやったほうがいいのかないかなとは思いますが、全世界的にはそれは出来ないクラブが本当に多かったの、この現状を鑑みて今回の3年に一度の規定審議会議で1月31日までの1か月間の猶予を与えたというふうなことになります。おそらく今年の年次総会の時に居川先生のほうから中間報告は出てくるものだとはそう思っているんですけど、全世界的に実情の合わせてこのようなことが今回

#### 5. 地区大会は「任意開催」

##### ——柔軟性と負担軽減を両立

- ・長らく「義務」とされてきた年次地区大会の開催についても、今後は任意で開催可能となりました。
- ・これは、各地区の財政状況や地域事情、そして参加者の声を反映した柔軟な運営を可能にする、大きな一歩です。

の規定審議会議で決まったということでもあります。それから、これは金田ガバナリーエレクトには本当に大変な変更点で、この前の地区の運営の委員会の中でもちょっと話が出ましたが、これまでにはガバナリーが必ず年次期間中に地区大会を開催しないといけなかったんですけど、この義務がなくなっ

て任意開催になるというふうなことが今回の規定審議会議で決まりました。永らく義務とされてきた年次計画の開催について、今後は任意で開催が可能になったというふうなことです。これはその次にありますように、地域の会員減と地区の運営等々の地区の財政状況が反映されまして、実際地区大会をやったけれども参加者が少ないというふうなこと等々で、その地区大会のやる意味がわからねえとかっていうふうな声が大きくなってきて、これが任意開催になったということでもあります。これを聞いて成井さんは喜んでるかもしれませんが、残念ながら金田ガバナリーエレクトはやりませんと言いますが、言いませんので必ずやりますから。これは僕が言ってもしょうがないですけど金田さんはやると言っていますので、これまで以上に地区大会の開催に向けて成井さんの実行委員長には頑張ってもらいたくないといけなくはないと思いますけれども、今度は定款上はやってもやらなくてもいいというふうに変ったというふうなことでありますから、多少肩の荷を下ろしな

#### 6. 会員の多様性

- ・各クラブとロータリーアクトクラブは、多様性、公平さ、インクルージョンを推進するようなバランスのとれた会員基盤を構築するよう努めるものとする。
- ・いかなるクラブも、RIにいつ加盟したかに関係なく、いかなる方法においても、**性別**、ジェンダー、人種、皮膚の色、信条、国籍、または性的指向により入会を制約することは、入会の条件を課すことはできない。

会員の多様性に **gender** とは別に **sex** を追加する。(性別とジェンダーは異なる)

「sex」は先天的な性・性差、「gender」は後天的な性・性差を表す言葉

が頑張ってもらいたければいいんじゃないかと思います。その次、会員の多様性というものが認められました。本当に定款上に各クラブ、ロータリークラブは多様性、公平性、インクルージョン、DILというやつですね。これを推進するためにバランスの取れた会員基盤を構築するように努めましょうというふうなことです。何が変わったかといいますとクラブというのは、国際ロータリーに加盟した加盟していないに関わらず、いかなる方法においてもジェンダー、性別、ジェンダー、人種、肌の色、信条、国籍、性的指向によって入会を規定されない。ジェンダーとセックスというのは違う。セックスというのは先天的な男と女ですけど、ジェンダーというのはいわゆるLGBT法に基づくそういう意味でも区別されないで入ることができるというふうなことをわざわざ明文化したというわけですね。先天的な性差ばかりでなく、後天的な性差によっても区別されないというふうなことを国際ロータリーの規定審議会議で決めないといけないほど、ロータリーはそれに対して差別をしないというふうな

#### 7. 年齢や肩書きにこだわらない参加を

- ・興味深いのは、**ロータリーアクトに対する年齢制限案が否決**されたことで、40歳以上のロータリーアクトの数が少ないことを挙げ、年齢制限は不要だと主張しました。

多様性・公平性・包摂（DEI）の観点から、年齢を理由に機会を奪うべきではない、という考えが主流となりました。

- ・また、名誉会員の制限案も否決され、**経験豊かな元会員とのつながりを大切に**するクラブ文化が評価されました。
- ・各クラブにおける名誉会員の数を、クラブの正会員総数の5%に制限することを否決しました。

ことを表明してるというわけです。年齢や肩書きにこだわらない

で参加しましょうと。これまでローターアクターというのは40歳で制限されたことがあったんですけれども、この制限がなくなりました。これは今回ではなく、この前の2022年の規定審議会でなくなったんですけれども、今回更に決まったのは大体我がクラブで名誉会員の数が正会員の5%に制限されていたことすらわからなかったとは思いますが、実はこれまでは制限されていましたけれども今度は制限されていないというふうなことでありますから、何らかの理由でもって残念ながら我がクラブを去る人には名誉会員というのはどういう意味での名誉会員としての資格があるのかということについては決まっていますから、理事会のほうで名誉会員に推薦するような内規みたいなものと、名誉会員の特典ないし義務とかいうものを決めてもらって、例えば今は今井令雄さんだけですけれども、佐藤清作先生あたりも名誉会員にするというふうなこ

## 8. 学びのスタイルも刷新へ

### ——「研修からラーニング」へ

- ・会長エレクト研修セミナーPETS →  
会長エレクト・ラーニングセミナー (PELS)
- ・地区研修・協議会 →
- ・地区・リーダーシップ・ラーニングセミナー (DLLS)
- ・これは単なる名称変更ではなく、ロータリーが「一方通行の“講義型”から、対話と気づきを重視する“学び合い型”へ進化することを象徴しています。

とも積極的に考えてもいいんじゃないかというふうな、そのためにも制限がなくなったというふうなことであります。これはもう既に金田昇ガバナーエレクトのほうからも話しも出ましたし、この前の矢田部さんのほうからも三大セミナーの時には話が出ましたけれども、ロータリーのほうは学びのスタイルが新たになりまして、これは既に喋られてる事ですから何回も話はしませんから研修からラーニングへというふうな形で名称が新たになりました。今までは、会長エレクト研修というのはPETSだったんですけれども今度はPELSに変わりましたし、地区研修協議会のほうも地区研修リーダーシップラーニングセミナーというふうな形になったわけで、これは 名前の変更だけを意味するのではなく、その名前の変更によって会を催すための精神が変わってくるというふうなことを国際ロータリーのほうでは言っています。つまり、一方的な講義型ではなくて対話型。気づきを重視するお互いに学び合いをしましょうというふうなことを表してるんだというふうなことを言われていますので、この話

### 名称が変わると文化が変わる

- ・クラブトレーナー (クラブ研修リーダー) Club Trainer  
クラブラーニングファシリテーター Club learning Facilitator
- ・地区トレーナー (地区研修リーダー) District Trainer  
地区ラーニングファシリテーター District Learning Facilitator
- ・地区チーム研修セミナー District team training seminar  
地区チームラーニングセミナー District team learning seminar

題は3回目ですからまあこのくらいで。その他にも名称が変わると文化が変わるというふうなことで、クラブの私の委員会もクラブ研修委員会という形になっていますけれども、これに合わ

せればラーニング委員会みたいな形に本当は委員会の名前も変えないといけないかもしれませんが、これ以降の事についてこれからの理事会でもって検討していただければいいんじゃないかと思います。クラブトレーナーというものがクラブラーニングファシリテーター、地区トレーナーというものが地区ラーニングファシリテーター、地区チーム研修セミナーというのが地区チームラーニングセミナーというふうな形で学び合いをしましょうというふうな形に変わったというふうなことであります。

## 結びに

- ・こうした改革のすべてに共通しているのは、「**変化を恐れず、価値を守るために進化する**」という強い意志です。
- ・私たち一人ひとりのクラブ活動は、世界中の仲間とつながる「点」でありながら、規定審議会という「線」や「面」によって未来へとつながっています。
- ・民主的で透明性のある仕組み——これがロータリーの誇りです。

一番最後にこのような形でロータリーというものは変化を恐れずロータリーの価値を守るために、あるいは価値を高めるために変化をして、進化をしていくんだというふうなことであります。私達一人一人がクラブの活動を通じてロータリークラブの点でありながら、更には地区あるいは国際ロータリーの線や面へ向かって、クラブ内だけではなく世界に向かってロータリアンとしての活動を広めてもらいたい。その為には、規定審議会や決議審議会というふうなクラブの中でも民主的に決めていますけれども、国際ロータリーもこのような形で民主的に決めてロータリーが変わってっているんだというふうなことを皆さん方に今日ご報告をさせていただき、ビジョン推進研修委員会の委員会の責任を果たさせていただければと思っております。

## 【白河西RC/米沢中央RC交流ゴルフコンペ】 グランディア那須白河 10月7日

優勝	吉野 敬之	11位	堀田 一彦
準優勝	中嶋 一貴	12位	宮本多加夫
3位	運天 直人	13位	船山 隆
4位	沼田 重一	14位	今井 好枝
5位	齋藤 孝弘	15位	柳沢 昭
6位	長 克則	16位	松田 純一
7位	羽生 義弘	17位	十文字光伸
8位	鈴木 孝幸	18位	藤田 龍文
9位	加藤 光	19位	島貫 正弘
10位	前原 俊治	20位	吉成真五郎

